

I 令和4年事業報告

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

〈 事業概要 〉

地球温暖化の進行や自然災害が頻発し、これまで植えられてきた森林が活用されずに放置されて荒廃に繋がりにかぬことへの懸念や、木を植え、木を育て、木を利用して循環しながら健全な森林を維持していくことの必要性が迫られています。加えて、コロナ禍とIT技術の浸透が相まって、ワーケーションなど人々の暮らしの変容に伴う新たな森林空間の利活用にも関心が寄せられています。また、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を達成するため、環境や経済、社会の様々な課題解決に向けて、森林づくりや緑化活動を通じて貢献していくことが求められています。

そのような中、長引くコロナ禍によって様々な制約を受けながらも、感染防止対策を徹底しながら県民参加の森林づくりや身近な緑の保全活動とともに、県制150周年記念を契機とした広報活動による緑化運動の機運の醸成、次代を担うみどりの少年団の育成、海岸防災林再生活動、幼児教育・保育での森林(緑)とのふれあいづくりなどにも積極的に取り組んでまいりました。

1 緑化推進事業

(1) 緑化運動の推進

緑化運動強調月間(春期:4月1日~5月31日,秋期:9月1日~10月31日)を中心として、県・市町村や関係団体と一体となった緑化運動を展開しました。

(2) 各種関連事業に対する支援・協力

関係団体が行う各種緑化関連事業に協力・支援を行いました。

イ 仙台市ほか主催「令和4年度新緑祭」の後援

ロ 令和4年度東北・北海道地区緑化推進協議会への協力

緑化功労者 蔵王町 太田 清隆 氏

ハ 令和3年度全日本学校関係緑化コンクールへの協力

【学校環境緑化の部】

入選 国土緑化推進機構理事長賞 大和町立吉田小学校

ニ 令和5年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクールへの協力(みやぎの緑化P19~P21)

【ポスターの部】宮城県優秀作品10点を(公社)国土緑化推進機構へ推薦

〔全国入選〕入選 国土緑化推進機構理事長賞

大崎市立古川第五小学校 5年 三浦 悠聖

【標語の部】宮城県優秀作品10点を(公社)国土緑化推進機構へ推薦

(3) 広報啓発事業

宮城県制150周年を記念して、森林整備の重要性や環境緑化について、県民の関心を高め、多くの人々に森林づくり活動への参画を働きかけるため、「県制150周年記念緑化事業」と冠を付して緑化事業を実施したほか、エコバッグ等のPR資材を配布しました。

2 (公社) 国土緑化推進機構の助成による事業

(1) 緑と水の森林ファンド事業

◇ 第47回宮城県みどりの少年団大会の開催（みやぎの緑化P5～P6）

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染対策を講じながら、開催時期を秋期に変更し、さらに参加者数を調整するなど規模を縮小して、みどりの少年団11団、育成会、森林ボランティアなど約250名参加のもと、東松島市矢本字板取の大曲海岸で、これまでに植栽した海岸防災林の下草刈りや施肥などの保育活動や被災地の自然環境の回復状況等の観察を行いました。また、今年は県制150周年を記念した植樹活動を実施したほか、大曲市民センターで開催した大会式典では新規加盟団への装備品の贈呈を行い、交流会ではネイチャークラフトなどに興じ、盛会裡に終えることができました。

○開催：令和4年10月8日(土)

○場所：東松島市矢本板取「大曲海岸」、大曲市民センター

○主催：宮城県みどりの少年団連盟

○共催：宮城県，(公社)宮城県緑化推進委員会

○後援：東松島市

○協力：NPO法人宮城県森林インストラクター協会

(2) 東日本大震災復興事業

(公社)国土緑化推進機構「緑の募金中央事業」を活用し、大震災からの復興に向けた事業を行いました。

イ 「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業（みやぎの緑化P9～P10）

事業概要：東日本大震災により失われた海岸防災林の再生を図るため既往の植栽地（仙台市若林区荒浜地区、岩沼市寺島川向地区）にお

いて、6月～10月に仙台大学附属明成高等学校3年生、仙台市立錦ヶ丘小学校5年生、仙台市立南材木町小学校5年生、一般公募参加の親子、NPO 法人宮城県森林インストラクター協会等の協力を得ながら延べ6回にわたり1.48 haの保育活動（下草の抜き取り作業やツル切りなど）を行いました。

- ロ 「森と海を結う・絆の森林づくりプロジェクト」事業（みやぎの緑化P12）
事業概要：「森は海の恋人」に象徴されるように森と海には密接な関係が築かれていますが、コロナ禍で様々な交流が分断される中、森と海、人々の絆をさらに深めていくため、女川上流の女川町女川浜の森林を対象に、地元住民をはじめ森と海の関係者ら約70名の参加を得て、9月6日（火）にカラマツ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラ200本を植栽しました。

- ハ 被災地に緑と心のふれあい森林づくり事業（みやぎの緑化P7）
事業概要：沿岸被災住民と山村住民との交流を図るため、平成27年から毎年開催されてきましたが、コロナ禍の影響により、交流活動を避けて分離開催となりました。11月8日（火）に登米市東和町の米川生産森林組合所有林において米川小学校の全校児童をはじめ教職員、登米市職員、米川生産森林組合役職員、(株)八葉水産社員ら120名の参加を得て、ドングリの種まきやカラマツ100本の植樹活動を実施したほか、11月11日（金）には南三陸町の「海に見える命の森」において同町内在住の被災住民ら20名の参加を得てドウダンツツジ20本、ガマズミ20本の植樹活動を実施しました。

（3） 森林ボランティア団体に対する支援

県内の森林ボランティア団体に対し、全国の森林づくり活動等の情報提供を行うとともに、(公社)国土緑化推進機構が行う各種助成事業を紹介・推薦し、ボランティア活動を支援しました。

イ 学校林を活用した森林環境教育促進事業

- 【実施団体】・NPO 法人宮城県森林インストラクター協会及び仙台市立泉松陵小学校並びに富谷市立日吉台小学校
・NPO 法人珀杜及び仙台市立青陵中等教育学校

ロ 子どもたちの未来の森づくり事業

((株)ファミリーマートの協力による環境教育活動の推進)

【実施団体】NPO 法人宮城県森林インストラクター協会
みやぎ里山整備クラブ

(4) 学校環境緑化モデル事業 (みやぎの緑化P7)

(株)ローソンが店頭で集めた募金により学校環境の緑化を推進するため植樹等を行う本事業により、仙台市立大沢小学校、松島町立松島第一小学校、南三陸町立志津川小学校において、ビオトープの整備や植樹、剪定等を行いました。

3 緑化促進事業

「県制150周年記念緑化事業」とし、「森と海を結う・絆の^も森林づくりプロジェクト」事業と併催で女川町女川浜の森林にヤマザクラ3本を植栽しました。

4 緑化関係図書・資料の斡旋と配布

会員を始め関係団体に対し、緑化関係イベントや図書の紹介・斡旋配布を行いました。

5 関係団体の事務受託

当委員会の業務と密接な関係にある「宮城県林業振興協会」「宮城県みどりの少年団連盟」「宮城県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会」の事務を受託しました。

6 緑の募金運動（みやぎの緑化P2～P3）

新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な制約を受けながら、引き続き緑の募金運動の全国統一スローガン『緑の募金で進めようSDGs』とキャッチコピー「森林を守る 森林を活かす」のもと、地球温暖化防止に貢献する森林や緑資源の重要性を幅広く県民に訴え、県民参加の森林づくりや緑化活動を促進するため下記のとおり募金活動を展開しました。

緑の募金の目標額：45,000,000円

緑の募金の実施期間（募金強調月間）

春期：4月1日から 5月31日まで

秋期：9月1日から10月31日まで

募 金 の 結 果

募金種別	年間目標額 (円)	募金額 (円)	達成率 (%)	備 考
学校募金	3,400,000	2,847,066	83.7	小学校, 中学校, 高等学校, 専門学校, 大学等
街頭募金	1,000,000	384,366	38.4	みどりの少年団, ボーイ・ガールス カウト, 森林ボランティア団体
職場募金	3,300,000	3,486,052	105.6	国・県・市町村・団体等の 職場
家庭募金	33,150,000	32,387,965	97.7	市町緑化推進委員会(協議会)
企業募金	4,000,000	3,332,120	83.3	県内の企業 ※使途限定募金含む
その他	150,000	95,165	63.4	個人, イベント, 道の駅設 置募金箱等
計	45,000,000	42,532,734	94.5	一般正味財産増減の部「緑の募金収益」42,047,880 円 +指定正味財産増減の部「使途限定緑の募金収益」484,854 円

7 緑化推進事業

豊かで潤いのある環境づくりと森林資源の整備を目的に、身近な緑と森林をふやし育てる「職場みどりの日」、「学校みどりの日」、「愛鳥週間」に植樹用の苗木等を配布しました。

(1) 職場みどりの日（県制150周年記念緑化事業）（みやぎの緑化P15）

市町村名	植栽場所	植栽樹種	本数
利府町	利府町文化交流センター「リフノス」	ヤエザクラ	3本

(2) 学校みどりの日（みやぎの緑化P15～P16）

市町村名	学校名	植栽樹種	本数
丸森町	丸森小学校	ソメイヨシノ	5本
塩竈市	第一小学校	カキ, ユズ, キンモクセイ	3本
栗原市	金成小中学校	ハナミズキ(赤・白)	2本
女川町	女川小・中学校	シダレザクラ	2本
気仙沼市	鹿折中学校	ツバキ	1本
仙台市	南吉成中学校	キンモクセイ, ギンモクセイ	4本
計	6校		17本

(3) 愛鳥週間における愛鳥モデル校への餌木の贈呈（みやぎの緑化P16）

愛鳥思想の向上を目指し、県が指定した愛鳥モデル校へ餌木を贈呈しました。

市町村名	学校名	植栽樹種	本数
七ヶ宿町	七ヶ宿小学校	ナンテン, ムラサキシキブ	2本
大崎市	田尻小学校	ナンテン, ムラサキシキブ	2本
栗原市	鶯沢小学校	ナンテン, ムラサキシキブ	4本
石巻市	北上小学校	ナンテン, ムラサキシキブ, ナナカマド	4本
登米市	石越小学校	ナンテン, ムラサキシキブ, ナナカマド	3本
南三陸町	入谷小学校	ナンテン, ムラサキシキブ	4本
計	6校		19本

8 緑化促進事業（みやぎの緑化P14～P15）

森林公園や公共施設周辺の植栽をはじめ、名木・古木の保全、県産材を使用した木製玩具の整備や、(株)七十七銀行、七十七証券(株)等からの使途限定募金を活用し、海岸防災林の再生活動などに対し支援しました。

(1) 補助事業

区 分	実施箇所	実 施 内 容
ふるさとの樹木保存事業	大河原町	白石川堤「一目千本桜」の樹勢回復
	利 府 町	樹齢300年「藤田の夫婦桜」の樹勢回復
	大 和 町	まほろば百選「沢渡の榎の木」の樹勢回復
	加 美 町	町指定文化財「鳥屋ヶ崎八幡神社の種まき桜」の樹勢回復
みんなの森造成事業	七ヶ宿町	湯原地区「みんなの森」の植栽整備 ソメイヨシノ、ヤエザクラ、オオヤマザクラ 計50本
木育活動支援事業 (県産材木製品の整備)	大河原町	世代交流いきいきプラザ
	柴 田 町	小規模認可保育園カラズふなおか園
	山 元 町	山元町こどもセンター
	涌 谷 町	(社福)遊創の森 こどもの丘保育所
登 米 市	(社福)専称福祉会 登米北上こども園	
次代へ繋げる海岸防災林 の保育を担うボランティア 養成・啓発事業	仙 台 市	実施主体：仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議 場所：仙台市宮城野区岡田、若林区荒浜地内 内容：ボランティア養成講座及び海岸防災林 の保育活動 参加者数 延べ60人
県制150周年記念 緑化事業	柴 田 町	船岡城址公園の植栽整備 ヤエベニシダレザクラ6本
	山 元 町	花釜区 町道31号頭無西牛橋線緑道の植栽 整備 ハナミズキ、サルスベリ他 計9本
	女 川 町	海岸広場の植栽整備 タイリョウザクラ1本

(2) 直接事業

イ 「みやぎバットの森」植樹祭 (みやぎの緑化P12)

みやぎバットの森植樹祭は、楽天球団が誕生した2005年から野球の文化とみどりの文化の末永い発展を願い、楽天野球団やみどりの少年団やスポーツ少年団等の参加を得て県内各地で野球バットの原木となるアオダモなどの植樹活動を行っているもので、今年「県制150周年記念緑化事業」と冠を付して、柴田町において新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら3年ぶりに開催しました。

◇開催日時：令和4年12月10日（土）

◇内 容：柴田町本船迫上野「町民いこいの森」にアオダモ100本他を植樹しました。なお、アオダモの苗木は、仙台トヨペット(株)から「ふれあいグリーンキャンペーン」として寄贈されました。

- ◇共 催：宮城県，柴田町，(公社)宮城県緑化推進委員会
- ◇参加者：東北楽天野球球団関係者，スポーツ少年団及び保護者，後援団体等124名
- ◇協 賛：仙台トヨペット(株)，イオン東北(株)，コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- ◇後 援：(株)楽天野球団，楽天イーグルス・マイチーム協議会，仙台森林管理署

ロ 海岸防災林の保育活動等（みやぎの緑化P10～P11）

- ◇期 間：令和4年1月～令和4年11月
- ◇内 容：平成26年から開始した海岸防災林再生植樹活動の植栽地において，企業，団体の協力を得ながら除草等の保育活動などを行いました。

- 場 所：岩沼市寺島川向地内「岩沼潮除須賀松の森」（岩沼市有林）
- 面 積：1.76ha
- 協力団体：JA共済連・宮城，全労済(こくみん共済)，ゆりりん愛護会

- 場 所：仙台市若林区荒浜北官林地内「荒浜潮除須賀松の森」（仙台市有林）
- 面 積：1.07ha
- 協力団体：宮城県樹木医会，JA共済連・宮城，NPO法人宮城県森林インストラクター協会

- 場 所：東松島市矢本板取地内「宮城県みどりの少年団大会植樹活動地」，「みんなで造る海岸林再生プロジェクト植樹活動地」ほか（東松島市有林）
- 面 積：0.88ha
- 協力団体：石巻地区森林組合

9 青少年緑化団体の育成（みやぎの緑化P5～P6, P8）

県内のみどりの少年団（53団，3，445名）で組織されている「宮城県みどりの少年団連盟」に対し運営費を助成したほか，第47回宮城県みどりの少年団大会の開催並びに県制150周年記念緑化事業の助成を行い，次代を担う青少年の育成に努めました。

10 広 報 啓 発

(1) 緑の募金の開始式（みやぎの緑化P4）

「緑の募金活動」を開始するに当たり，募金活動のPRをするため，例年4月1日に県庁1階ロビーでセレモニーを行っていますが，今年は，規模を縮小し，新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら，3年ぶりにセレモニーを開催し，街頭募金を実施しました。

- ◇開催日時：令和4年4月1日（金）9：45から10：15
- ◇開催場所：宮城県自治会館1階 玄関脇ロビー
- ◇参加者：宮城県環境生活部長，自然保護課長，将監小学校みどりの少年団，ガールスカウト宮城県連盟仙台地区協議会，ボーイスカウト宮城県連盟他 計33名

(2) その他の広報

緑の募金運動を展開するため、緑の羽根など募金資材を購入するとともに県制150周年を記念したPR資材としてエコバッグ等を配布しました。

また、宮城県産スギ材で製作した募金箱を募金活動団体や公共施設等へ配付したほか、国産材を使った経木の付箋を配付し“木づかい”をPRしました。

さらに、広報誌「みやぎの緑化」の発行や募金協力を呼びかけるチラシを作成したほか、海岸防災林の重要性を周知するため「甦れ千代の松原～宮城の海岸林物語～」や『東北「海岸林」ものがたり』を配付しました。

また、ホームページや新聞等を活用した公告や、宮城県の協力による「楽天命パーク宮城」での緑の募金CMの放映、ポスター、リーフレットの配布を行い、緑化運動の広報活動を積極的に進めました。

(3) 市町村緑化推進委員会（協議会）との連携

「緑の募金だより」などを配布し、各種緑化情報の周知を図るなどの支援活動を行いました。

1.1 「緑の募金」交付金の交付

(1) 募金団体への交付（みやぎの緑化P16～P17）

コロナ禍のなか、家庭募金を実施していただいた市町村緑化推進委員会（協議会）、学校募金を実施していただいた各学校、街頭募金に協力いただいたみどりの少年団、森林ボランティア団体に対し、その募金額の65%以内（事務経費5%を含む）を交付し、それぞれの地域において各団体による自主的な植樹活動や緑化活動の推進に寄与しました。

区 分	交 付 額
学校募金	287,217円
街頭募金	151,454円
家庭募金	21,016,880円
合 計	21,455,551円

(2) 公益社団法人国土緑化推進機構への交付

公益社団法人国土緑化推進機構に、下記のとおり交付金を交付しました。

イ 根拠法令

- ◎ 緑の募金による森林整備等の推進に関する法律 第18条第1項
- ◎ 緑の募金による森林整備等の推進に関する法律施行規則 第6条

ロ 交付金額

区 分	交 付 額
R3年秋期分	36,000円
R4年春期分	1,097,000円
合 計	1,133,000円